

## 2018 関西合同三田会 びわ湖近江大会

### (ご報告)

平成最後の年の10月20日(土)に、びわ湖大津プリンスホテルにて近江慶應倶楽部の主催で開催され、約400人が集った。その会場に入る際に、20人の気品ある美女がずらりと並び美声を張り上げて「いらっしやいませ～」と歓迎を受けたのには驚いた。



“記念式典”は12時に“塾歌”斉唱から始まり、宮崎近江慶應倶楽部会長と渡辺関西合同三田会新任会長の挨拶、来賓の紹介などが続く。式典のメインイベントは、長谷山塾長による恒例の講演と杜多道雄(とだ・どうゆう)天台宗宗務総長の記念講演だ。

長谷山塾長は、「昨年は野球の話を中心にしたので今年は別の話をしようと思ったが、高校は春夏連続で甲子園に出場し、大学は六大学野球で3連覇しそうなので、そうはいかない事態となった」と前置きして、やはり時間の半分くらいが野球や前回のオリンピックで活躍した学生他たちの紹介などスポーツの話題となった。



杜多・天台宗宗務総長は、なんと慶應義塾大学経済学部卒業とか。のっけに「私もレッキとした慶應ポーズです」のユーモアで会場を和ませてから、本題の「現代世相を考える」の講演に入られた。「近年は卑劣な事件が増え、特に若者による残忍な犯罪が目立つようになっている。それはなぜか？」に始まり「30年以上毎年行っている“比叡山宗教サミット”ではキリスト教、イスラム教ほか世界のあらゆる宗教の中心人物が一堂に集い人々の心のやすらぎ、行き着くところ世界の恒久平和の実現を祈っています」と締めくくられた。

さて、いよいよお楽しみの“祝宴会”！ 料理は全て近江の食材・人気の近江牛、新鮮野菜、なんといっても目玉の名酒“萩乃露”。催し物のまずは“びわ湖ホール声楽アンサンブル”のソプラノ、テナーのお二方による合唱、独唱の鑑賞。“乾杯の歌”，“びわ湖周航の歌”など馴染みの深い歌ばかり



りで、思わず口ずさむ人も多くいた。恒例の“鏡開き”，“乾杯”に続き、滋賀県出身の現役指導部員，チャリーダーによるカレッジソングのメドレー。皆さんの若さに惹かれ、次々と肩を組む輪が出来、次第に大きくなっていった。



宴会の最中に、冒頭に紹介した美しい方たちがテーブルを回ってお酌をしてくれる。聞くと、宴会などを格式高く盛り上げる役割をするレセプタントと称する人たちで、ある会社から派遣されて来たとのこと。大津市周辺には数社あるらしい。彼女たちにまじり京都・先斗町から舞妓さんも駆けつけ、彩を添えていた。

最後は、定番の“若き血”の大合唱をチャリーダーの振り付けと応援指導員のエールで大盛況のうちにお開きとなった。

